

松中の絆 《7月行事》 学年人権に関する意見発表会から学んだこと 松茂中学校3年 2024年7月1日(月) 第8号

※大学1年になる松茂中の卒業生が中3の7月に綴った生活ノートです

確実に合格するという自信と誇りを持って、高校入試に望みたい

私は、A高校を志望しています。毎年、A高校は志望人数がたくさんいます。先日、徳島新聞に徳島県の公立高校の募集定員と志願者数が載っているのを見ました。それを見ると、私が希望しているA高校は100人以上オーバーしていました。そのとき私はものすごく不安に襲われました。「ずっと目標としてきたA高校に行けなかったらどうしよう」などと、たくさん考えて苦しくなりました。

また、1学期の実力テストが終わり、自分の結果を見ると、同じような不安に襲われました。お母さんにも怒られ、自分の実力は点数にしっかり表れることを実感しました。

そこから、私は毎日勉強時間を大幅に増やし、スマホをさわる時間を、暗記する時間にまわすなど、効率よく勉強するように工夫しました。私は、「行ける高校」ではなく、「自分が行きたいとずっと願ってきたA高校」に確実に合格できるという自信を持って、高校入試に望みたいと思います。

「高校入試は団体戦」という言葉は、私のため、私のクラスのための言葉だと思います。学級目標は「団結力のあるクラス」です。今まで、クラスの仲間と、たくさんの行事や、試練を乗り越えて過ごしてきました。私のクラスには集中力がありません。クラス全員が自分の志望校に受かって、それぞれの道に歩いていくためにも、私は毎日毎日勉強を頑張っています。そして、確実に合格するという自信と誇りを持って、高校入試に望みたいと思います。

日	曜	7月行事予定
1	月	
2	火	
3	水	B日課 ノー部活デー
4	木	
5	金	B日課 漢字検定
8	月	B日課
9	火	B日課
10	水	B日課ノー部活デー
11	木	プール午前AB午後CD
12	金	B日課
15	月	海の日
16	火	B日課
17	水	B日課
18	木	B日課 スマホ・ネット安全教室
19	金	①終業式②学年日課③学活④大掃除
22	月	三者面談
23	火	三者面談
24	水	三者面談
25	木	三者面談
26	金	郡陸上競技大会
29	月	三者面談
夏休み(7月20日～8月26日) 2学期始業式(8月27日)		

2024年度 松茂中3年 人権に関する意見発表会

※6月18日(火)に実施した学年人権に関する意見発表会と語り合いの写真です。これまでの積み上げてきた「語り合いの人権学習」への思いや願いが表現された意見発表と、学年全体で語り合った人権学習です。この日の生活ノートは、次回の学年通信で紹介します。



◆語り継ぐ東京大空襲

—3月10日、家族6人を失う さらに少年兵の兄まで

亀谷敏子・早乙女勝元



※東京大空襲体験者、亀谷敏子さんからの手紙(文面)と送っていただいた書籍です
松茂中学校の皆さんへ

4月30日、東京大空襲・戦災資料センターセンターに行き、皆さまのお心のこもりました
感想文集「松中の絆」を頂きました。有り難く、有り難く読ませて戴いております。

私は、92歳半になりました。眼も耳も弱くなり、また86歳で発病しました頸椎症性神経
根症がどんどん悪化し、手足の痛み、しびれがますますひどく、この手紙も一言書いては
手を休め、マッサージをしながらの一字一字を書いています。そのため、返事が大
変遅くなったこと、本当にごめんなさい。

どうか、どうか、生徒の皆様にもよろしくお伝えくださいませ。しっかりと私の話を聴いて
いただいた生徒の皆さん、私の眼をしっかりと見ながらお礼の言葉を伝えてくれた生徒さん
のことは、ずっと心に残っています。皆さんへのお礼と、御返事が遅くなったお詫びに、書
籍(ブックレット)も2冊贈呈させていただきます。1冊は、思いを伝えていただいた生徒さん
に差し上げてください。ご家族の戦争体験を語ってくれたことがすごく嬉しかったです。

※YKさんが送った亀谷敏子さんへの手紙

拝啓 青葉が目眩しいこの頃、亀谷さんお元気ですか。

先日は、私たち松中生のために貴重なお時間をありがとうございました。森口先生を
通して東京大空襲の冊子を受け取りました。表紙のイラスト、そして、中の写真や亀谷さ
んの体験をもう一度詳しく読み返しました。

直接お話してからもうすぐ半年が経とうとしています。それでも、少しも亀谷さんの声が
心から薄まることはありません。私たちは、どんなに想像しても勉強しても、亀谷さんがあ
の日感じた恐怖、感じた気持ち、見た景色、嗅いだ臭い、何も体験することはできませ
ん。でも、だからと言って起こった事実に向けることは間違っていると思います。

だからこそ、私たちはこの真実を後世に語り継ぎ、平和を保ち続ける義務があると思っ
ています。理不尽な理由で誰も命を落とさない。一人一人の命が尊重される日が来るこ
とを心より願っています。末筆ながら、亀谷さんのご健康を心よりお祈り申し上げます。

※亀谷敏子さんとの文通から考えた戦争に対する思いを綴ったYKさんの生活ノート

今の時代、文通することは珍しいこと、あまり関わりのないことになってきています。修学旅行
で行った「東京大空襲戦災資料センター」でお話した亀谷敏子さん、覚えていますか？

先日は、お世話になったので手紙を出しました。文面はなんだか緊張します。今日の社会の
授業で「アンネ・フランク」が出てきました。私は、小学校の時に彼女の伝記を読みました。罪の
ない人たちが多く亡くなっていることは、本当に許しがたいことです。

彼女が亡くなったのは15歳。私と同じ歳の時です。今の私には、したいことや、なりたいもの、
叶えたいものがたくさんあります。戦争や空襲では、私たちより小さい子もたくさん命を落として
います。

今日、たまに耳にすることに「第三次世界大戦が起こると地球が終わる」と言われています。
小さなことでも、どんなことでも、誰かが生きたいと願うなら、戦争はあってはなりません。まだ、
テレビではウクライナの侵攻されているニュースを見ます。1日も早い終わりを願って、武力に頼
らない世界をつくるためにできることをしていきたいです。文字でしか伝わらない思いもあります。
文通もたまにはいいなと思いました。

(担任コメント)

中学3年生から手紙が届く幸せ。その時の亀谷さんの笑顔が私の中に広がります。
「私の目を見て、原稿を持たずに、自分の言葉で、自分の家族のことを語ってくれた生徒さんの
言葉、本当に嬉しかったです。」修学旅行の第1日目、講話終了後に、「東京大空襲・戦災資料
センター」の展示室で、熱い想いを語っていただいた亀谷さんの顔が鮮やかによみがえります。
私にとって、92歳をひたむきに生きている亀谷さんとの出会いとつながりは宝物です。

※亀谷さんから手紙を受け取った日に綴ってくれた生活ノート

修学旅行で訪れた亀谷さんから手紙が届きました。前に東京大空襲の資料をもらったので、私は手紙を書きました。それに対する返事
です。きれいな達筆で封筒に私の名前が書かれていました。中には、ウクライナやガザのニュースを見て心を痛めているという文と、私への感謝
が綴られていました。

もう二度と思い出したくないであろう「戦争」。テレビではまだまだ放送され続けているウクライナ侵攻。どれほどの人が体や心を痛めているの
か私には計り知れないけれど、戦争という言葉聞く度に、亀谷さんの話を思い出します。

「私が家族を殺してしまったようなものだ」

「兄を殺してしまった」

戦争は終わり今年で79年目。まだ心を痛め続けている人がいます。私はそれが許せません。手紙の中には資料も入っていました。この手紙
は私の生涯の宝物です。

《仲間の生活ノート》

仲間が日々の生活を綴ってくれた生活ノートです。今回は、学習について思うこと、仲間との人間関係のこと、体育祭のこと、様
々な人権学習のこと、一人ひとりの誠実な思いが表現された生活ノートを掲載することができました。仲間の思いを通して、自分の
生活をみつめ、共に成長する一日一日を過ごしていきましょう。今回は、5月13日(月)から6月11日(火)までの生活ノートです。

5月13日(月) 毎日テーマを決めて生活ノートに短い作文を書こうと思う

テストが返却されました。国語の作文が時間が足りなくて書き切れていませんでした。作文を速く上手に書くためには、やっぱり
慣れるしかないと思います。だから、これから毎日テーマを決めて生活ノートに短い作文を書こうと思います。

【作文練習①】 感謝することの良さについて、体験を交えて書く

感謝する気持ちを表すためには2つの良さがあると思います。1つ目は、家族と良好な関係を築けることです。2つ目は、自分が
幸せな気分になりポジティブになれることです。



母は、毎日私にお弁当を作ってくれています。休日に自分でお昼ご飯を作った時に料理の大変さがわかり、母に「いつもお弁当を作ってくれてありがとう」と伝えました。すると、母が「そう言ってもらえると頑張れる」と言いました。

その日から母とケンカをすることが減り、話をする機会が増え、幸せな気分になり、悲しいことがあっても、ポジティブに捉えることができるようになりました。

【作文練習②】 最も大切にしている言葉は何か(前段:その言葉と理由 後段:どのような場面でその言葉が生かされるか)

私が大切にしているのは、「他人にできて、君だけできないなんてことあるか」という言葉です。これはドラえもんが言った言葉です。自分は他人と比較してその人より劣っている自分を見つけると、ネガティブになってしまうけれど、この言葉を思い出すと、前向きで明るい気持ちになれるからです。私の将来の夢は教師になることです。教師になるためにたくさん勉強しているけれど、思うように成績が上がらず、友だちと比較して落ち込んでしまいます。そういう時にこの言葉が生かされると思います。

【作文練習③】 リーダーに求められる力とは何か。また、その力を養うためにこれから取り組みたいことは何か。

(前段:リーダーに求められる力とその理由 後段…これから取り組みたいこと)

リーダーに求められる力は決断力だと思います。決断力があると物事をスムーズに進められるからです。また、決断力があるとトラブルを起こすことが少ないと思うからです。

私は決断力がなく優柔不断なので、これからは自分で自分のことを決めるようにします。それができるようになるために、学級委員など重要な役割を引き受け、決断力を養いたいです。

【作文練習④】 夢を叶えるために必要なことはどのようなことか。体験などを述べろ(前段:必要なこととその理由。後段:体験)

夢を叶えるために必要なことはあきらめずに継続することだ。継続すると、少しずつ自分のスキルがアップし達成感がある。達成感を味わうことで夢に近づけると思うからだ。私は小学校6年生の時、習字コンクールで金賞を取るという目標を立てた。それから毎日2時間習字をし、1年後に金賞を取ることができた。諦めず継続することは、目標や夢を叶えるのに必要だと思う。

5月17日(金) 体育祭を通して、仲間と一致団結する大切さを身に染みて理解することができた

今日は、ずっと楽しみにしていた体育祭がありました。どのクラスにも負けたくなかったけど、特に、C組にはバレー部のSHさんとMTさんがいるので、絶対に負けたくなかったです。最初の綱引きの相手はD組でした。意外とすんなり勝てました。

そして、決勝戦の相手はC組でした。最初はC組に引っ張られている気がして少し焦ったけど、諦めずに引っ張っていたら、最終的にはB組が勝ったので嬉しかったです。

次の種目は、ムカデ競争でした。同じグループの人と息を合わせて頑張りました。初めてした時は歩くだけで精一杯だったけど、体育の時間にたくさん練習すると、速く走れるようになりました。予行練習ではギリギリ1位が取れたので、本番もこの調子で頑張ろうと思ったけど、惜しくもC組に負けて2位でした。横でC組の女子がキャーキャーと喜んでいるのを見て、「リレーでは絶対に勝つぞ!」と思いました。

リレーが始まるまではとても緊張しました。予行練習の時のように、バトンパスが上手くつながればいいなと願っていました。そして、迎えた本番はお互い応援し合ったおかげで、バトンも落とすこともなく最下位から1位まで押し上げることもできました。3年団の中で1位が取れたので、今まで練習してきたよかったです。今回の体育祭を通して、仲間と一致団結する大切さが身に染みてわかりました。これからも、もっとクラスの絆を深くしていきたいです。

5月17日(金) 最高の1日になった体育祭、クラスみんなに感謝です

今日は体育祭でした。どの競技もクラスみんなと力を合わせて頑張れたので、スローガン通り一生心に残る思い出となりました。特に心に残ったのは、全員リレーです。私は走るのが苦手だし、走る順番も早くて、決まった時からかなり不安でした。でも、小泉先生からの励ましと、みんながいるから大丈夫という温かい言葉で勇気と元気をいただき、少しでも迷惑をかけないよう必死で走りました。結果、私自身は遅くて申し訳なかったけど、みんなの素晴らしい走りのおかげで少しずつ順位が上がっていき、最後1位になれてとても嬉しかったです。

ムカデ競争はチームのみんなと一生懸命練習して臨んだ本番だったので、楽しく競技ができました。そして、綱引きで1位になれたのは、みんなの勝ちたいという思いが一つになって、パワーが発揮できたからなのだと思います。

3Bは、学年でも縦割りでも優勝できたので、最高の1日になりました。中学生最後の体育祭で、思い出をつくらせてくれたクラスみんなに感謝です。先生方も暑い中、準備や片付け、応援をしてくださり、ありがとうございました。

5月18日(土) 勇気を出して何か行動しないと自分を変えられないと改めて感じました

私は、「人権を語り合う中学生交流集会+24」の第1回実行委員会が行けなかったのが、今日久しぶり(中学2年以来)に参加しました。今回は、実行委員長・副委員長の選出やキャッチフレーズの選定を行いました。キャッチフレーズの選定で、1人ずついいと思った作品を選んだ理由を言う前に、1人だけ私を選んでくれた子がいて、最終的に板野中のFMさんのになったけれど、1人だけでも私を選んでくれたことがとても嬉しかったです。

その後、森口先生からのお話を聞いての語り合いをグループに分かれてしまいました。私のグループはみんな積極的に話せるタイプではなくて、すぐに静かになってしまっていました。でも、そんな中でも瀬戸中のKIさんが実行委員長として頑張ってくれていて、このグループでの語り合いの時に、KIさんが「私もあまり語れない。そんな自分を変えるために実行委員長に立候補した。次回までもっと語れるようになってきます」と言っていました。

そして、全体での語り合いの時、KIさんは2回手を挙げて発表していました。私は、すごいなと思ったし、勇気を出して何か行動しないと自分を変えられないと改めて感じました。だから、私も次は勇気を出したいです。

5月20日(月) 自分自身と強い意志を持ち、差別に支配されないよう意見を持てる人になりたい

今日は、2時間目に学年全体の人権学習がありました。これまでの学習では、部落差別によって結婚したい人と結婚できない差別の現実について学んでも、「そうだったんだな」とかという「ひとごと」としての捉え方しかできてなかったけど、今日の授業では、結婚差別の苦しい闘いや親にも反対されても、自分の信念を貫いて生きる姿に出会うことができ、今まで自分の中になかった悲しみや苦しみ、人として許せないという気持ちがたくさん感情として出てきて、部落差別への怒りが溢れてきたと思います。本気で部落差別解消への取り組みができる人になりたいと強く思っています。

5月20日(月) 差別に負けない心と、差別と闘う心を持つ人になりたい

今日の2時間目に、体育館で人権学習でした。私は、そこで初めて“結婚差別”という言葉を知りました。結婚相手が部落出身というだけで両親が認めてくれなかったり、「諦めなさい」と言われたりするということを知りました。自分が好きな人のことを両親が認めてくれなかったら、絶対に自分の相手もしんどくなると思います。

私は、どれだけ相手のことが好きでも、家族に認めてもらえなかったら、諦めてしまうと思います。しかし、中倉宏美さんは自分の幸せを願って家族に説得し続けていて、とても尊敬できるなと思いました。だから、私も中倉宏美さんを見習って、差別に負けない心と、差別と闘う心を持つ人になりたいです。

5月27日(月) この生活ノートは本当に一生物だと思う

今日の4時間目に書いた人権作文を読み返していた時、自分で書いておいてグサッと来るものがありました。それは、今のままだと行きたい高校に行けない。100点以上足りないということです。現実逃避したくなることをたくさん書いて、楽に高校に行きたいと思いましたが、この1年頑張ったらすごく成長すると思います。

1, 2年の時は遊んでばかりで、勉強なんてまだいいと思っていたけど、それは間違っていたなと思いました。中1も中2も今くらい勉強していたら頭良くなっていたかなと思ってしまうけど、いつも後悔したくないと発表で言っていたから、口だけになってしまわないように、後悔はしたくないです。でも、1, 2年の時の自分と比べると大分変わっていると思うので、今の調子でどんどん成長して、受験の時に「頑張ってたよ良かった」と思えるようにしたいです。

結果は努力をすれば出てきます。私は今まで努力して来なかったから上がらなかったんだと思います。受験とか正直まだ関係ないと思っていたから、家に帰って、テスト期間じゃないのに勉強なんてしたことがないと思います。

宿題したら、すぐ「YouTube」、「ゲーム」の繰り返しでした。そんなことをし続けて頭がよくなるとは思えないので、中1の頃から少しでも復習をして、苦手なところをなくしておけば今は楽なのかなと思ってしまうけど、後1年あります。この1年、今までの私と全く違う私に生まれ変わりたいです。

この生活ノートも残り5日で終わります。1日2ページも使うと思わなかったし、これだけ続くと思っていませんでした。毎年1ページ目は結構書けていたけど、今年もそこで終わると思っていたけど、今年は3年ということで、なぜかスラスラと書けたので続けていたら、毎日書けるようになってきました。森口先生は「3年生の生活ノートは特別」「生活ノートは一生物」とよく言ってくれます。最初の頃は、1, 2年と変わらないだろうと思っていたけど、本当に違いました。この生活ノートは本当に一生物だと思います。1~2行で終わっていた生活ノートは、決して一生物にはならないと思います。自分の思いを1行1行に書き込んでいくことによって、この生活ノートはで一生物になると思います。私の目標は、1年で6冊生活ノートを書くことになっています。1, 2年の時は1年で1冊も終わらなかったけど、このペースで書き続けると、2ヶ月で1冊終わるので、6冊はいけるかなと思います。

これまであんまり勉強することはなかったけど、ワークを徹底的に頑張り抜いて100点目指し頑張ります。先生がこれからのテストは難しくなると言っていてすごく焦っているけど、いつも通り頑張ります。

5月30日(木) 私の後に語った人の生き生きとした姿にショックを受けたけど、勇気を出して頑張っていきたい

今日は人権学習、最後の語り合いがありました。自分から手を挙げるのではなく、森口先生に言われて語るという形になってしまったのが少し悔しかったけど、人権こども塾に参加してきたこともあって、語ることに對して緊張せずに取り組みました。そして、それは私の中で「成長してる!」と初めて感じられた瞬間でした。とても嬉しかったです。しかし、私の後で語っていたSMさんやDKさん、KYさんは、語ることを楽しんでいるように生き生きしていました。その姿を見ると、私は比べものにならないくらいまだまだだなと感じ、ショックを受けました。そして、語り合いの授業の後に森口先生の道徳もあり、その道徳に時間の最後に「委員長、一言」と突然感想を求められました。急だったので、本当に言いたいことはあまり言えなくて後悔したけれど、そういう場合でもちゃんと語れるようにと練習のチャンスをくださった森口先生に感謝したいです。上には上がいるなど改めて思った1日でした。これから、もっと勇気を出して頑張っていきたいです。

5月31日(金) 周りを見ると、すごい人ばかりで良い影響を与えてくれる

今日は「松中の絆」が配られました。いつもより多く、全部で12ページありました。いつもの私なら、途中で読むのに飽きて最後まで行かずに終わってしまうけど、昨日の森口先生の道徳で、「自分を見つめ直す本気の生活ノート」という授業を受けて、同級生がどんな思いで、どんなことを生活ノートに綴っているのか気になり、全ての文章に目を通しました。

今回の「松中の絆」は、参観日に行われた3年C組の語り合いも掲載されていました。その中の授業者である森口先生の話で、私のクラス3年D組が出ていて、「3年D組は去年の2年D組の人が多く、その去年の雰囲気が3年D組に広がっていて、学級開きの語り合いは感動の授業となった」と書かれていました。

私は、これを見て「自分のクラスが褒められてる!」と思い、嬉しくなりました。そして、気になっていた同級生たちの生活ノートからは、何回も驚かされました。特に、1日1ページ書くということを継続できている人が何人もいたことです。

正直、私はそんな人が同級生にいないと思っていませんでした。最近、私も私なりに生活ノートを頑張っていたつもりでした。しかし、生活ノートを1ページ埋めたことはありません。最高でもまだ半分です。自分の中では成長を感じられても、周りを見ると、もっと凄い人たちがばかりで、良い影響を与えてくれます。今の私は、影響を与えられる側だから、これからもっと頑張る良い影響を与える側になりたいです。

5月31日(金) 大人になっても自信につながるような生活ノートを書いていきたい

今日は、朝に「松中の絆」が配られました。そこには、体育祭の思い出やみんなの思いが詰まった生活ノートのことについて書かれていました。たくさん心に残った文章がある中で、特に心の残ったのは、「生活ノートのマイルール」という文です。この考えはとても良いと思いました。「消しゴムを使わない」「字数もマスも気にしない」など、自分にとっての生活ノートの書き方、残し方を考えていきたいです。自分は、「消しゴムを使わない」「マーカーなどでページをアレンジして何度見直ししても、明るさや悲しい気持ちなどを表現する」というこの2つを実践していきたいです。生活ノートは1度書いてしまうと見返すことがないので、大人になっても自信につながるようなものを残していきたいです。

5月31日(金) 人権学習は、人生において永遠の学習だと思う

今日の朝は、「松中の絆」を読みました。その中に森口先生の語り合いの授業の記録が載っていました。そこには、僕が発表した原稿もちょうんとありました。1年生からずっと語り合いの学習は続けられてきましたが、その度に人権学習に興味を持つようになりました。人権学習は、人生において永遠の学習だと思うので、日常でも意識していきたいです。

5月31日(金) 発表の内容に後悔はあったけど、今日は頑張った自分を褒めたい

今日は、1日初めてのことで良かったです。まず最初、初めて「松中の絆」をすべて読みました。ペラペラ読んで、良い漢字の文を見つけて終わりだったけど、今日は、1文1文全て読みました。配られた時はどんどん配られて、6枚もあって、正直「多すぎるやろ」「絶対こんなの読めんわ」と思っていました。でも3枚目、6ページの一番最初の生活ノートを読んで、「自分もチャレンジしよう」という気持ちになって読み始めました。

全部読んでみると、今まで気づかなかったわからない漢字があったり、打ち込みミスがあったり、いろんなことに気づきました。1日1ページ書いている人がいっぱいいて、とてもびっくりしました。私は、今日以外3行くらいしか書けてないからです。絶対自分は1日1ページ無理だと思います。でも、1日1ページ書いている人も、初めは今の自分と同じでした。だから、今日からちょっと頑張ろうかなと思います。

「松中の絆」の中に、自分と同じ気持ちの人がいました。前々回「松中の絆」について載せられていた「生活ノートのマイルール」が心に残ったという生活ノートです。自分が書いたわけじゃないけど、一緒のことを思っていたことになぜかとても嬉しくなりました。自分も、自分の生活ノートで誰かを喜ばせる人になりたいと思いました。

2つ目は、みんなが本気で語り合った人権学習です。始まる前は、「絶対手を挙げて発表しよう」と思っていました。でも、YKさんの語りから始まって、1番最初のYKさんの語りで、「ああ、自分発表したら浮く」と思いました。なんか、初めて同い年なのに同い年だと思えませんでした。亀谷さんにお手紙を書いたと聞いて、なんか自分が小さいなと思いました。

次のASさんの語りも泣きそうになりました。そこまで自分のプライベートのことを語っている姿、本当に尊敬しかないです。いつも、サッカー部のキャプテンで、仲間で、面白くて優しく、ノリのよいASさんが過去にはなんか想像できんくらい辛くて悲しいことがあったと知って、今の姿と比べて泣きそうになりました。しかも、誕生日の次の日ってことも、とても悲しかったです。そんなASさんだから、いつも優しく、みんなのことを考えるキャプテンなんだなと思いました。

自分は、そんな経験がまだありません。だから、ASさんが言っていたように周りの人に感謝を伝えます。ASさんにも、サッカー部のみんなにも、「いつもありがとう」って伝えたいです。すごい語りの後だったから、自分は発表する気はありませんでした。

でも、先生と目が合って、「KHさん」って呼ばれて、頭が真っ白で全然語れませんでした。精いっぱい言葉を絞り出したけど、他のみんなより内容も薄いし、短いし、後悔いっぱいでした。「もっとあれ言えたら…」「落ち着いたら…」と後悔したけど、次から頑張ろうと強く思います。今日は頑張った自分を褒めたいです。

5月31日(金) 自分の気持ちをその場でまとめて、相手にわかりやすく伝えられるようになりたい

語り合いの人権学習がありました。委員長、副委員長の3人が初めに発表して、軽く考えていたのだとは思いますが、何も原稿を読まずに自分の頭でその時に考えたことを発表しているのを見て、「すごいなあ」って思ったし、私もこんなふうに、自分の気持ちをその場でまとめて相手にわかりやすく伝えられるようになりたいと思いました。

他にも、自分の家族のことを打ち明けてくれる人もいました。なかなか言うのに勇気がいると思うことを、堂々とハキハキ言っていて気持ちや内容がすごく伝わったし、わかりやすかったです。3年生のうちにまだ発表できる時はあると言っていたので、私も堂々とハキハキと相手に伝わりやすい文章で頑張っていきたいです。

6月3日(月) 今年は我慢の年で、努力すればするほど実と思う

今日からは2冊目のノートです。今まで1, 2年生の時は1年でも1冊終わらなかつたけど、3年生では2カ月弱で終わりました。前に人権学習で生活ノートの授業をしました。そして、1年で7冊書いた子がいました。「7冊とかすご過ぎだろう」と思っていました。でも、私も1冊2ヶ月で終わるなら6冊は書けると思います。

中1, 2年の時はあまり話題がなかったけど、3年生ではいろんなことを経験すると思います。だからそれを使っていて、最高の生活ノートの「思い出のノート」にしたいです。一生に1回しかない中学3年生。楽しいこともたくさんあると思うけど、それ以上に苦しいことの方が多いと思います。

テストの量が増えて、受験という言葉に怯えながら勉強して、もうすでに苦しいですが、それを乗り越えたらすごく楽しい高校生生活が待っています。今年は我慢の年です。努力すればするほど実ります。自分を信じて勉強し続けたいです。

今日は、学級目標の文字を折り紙でデコりました。私はすごく不器用で、大きい文字がいいなと思っていたら、代表が負けて小さなになりました。その中でも、難しい漢字をするってなった時に、終わるか、きれいにできるかと、不安でした。センスも問われるし、器用さも問われる大変な仕事でした。でも、無事完成できてよかったです。

最初折り紙を貼っていたら、これ本当にきれいな文字になるのかとすごく不安でした。でも、やってみると意外とできて良かったです。明日もあるので頑張ります。

6月の末に期末テストがあります。私の目標は、350点以上取ることです。どのテストでも350点以上取ろうと決めました。基礎学力テストではいつも300点も取れていません。そうすると、行きたい高校は確実に消えます。それは嫌なので、今から夏休みは頑張ろうじゃなくて、今から頑張ります。だから、朝30分でも勉強するとか、夜は眠くなったら寝ようというマイルールを決めて生活していきたいです。勉強をする習慣をつけるのはすごくいいことだと思います。だから、習慣づけるように日々少しずつでも勉強していこうと思います。そして、基礎学力テストで行きたい高校に行けるような点を取りたいです。周りはみんな頭が良くて、テストが返ってくる時、90点台とか多くてすごく羨まそうだけど、私もどの教科でも90点台を取れるようにしたいです。

6月5日(水) 「努力、毎日の積み重ねが大事」と言われた先生の言葉を実践していきたい

今日、「本気の生活ノート」というテーマの道徳授業をしました。僕は最近忙しくて学校で生活ノートを書いていた。だけど、今日の授業を受けて、しっかり家で生活ノートを書かないと意味がないと思いました。だから、これからは家で生活ノートを書きます。そして、今日の授業で一番心に残った森口先生の言葉は、「努力、毎日の積み重ねが大事」という言葉です。自分は、勉強やサッカーがとてもできるわけではありません。けど、「努力は必ず報われる」と信じています。まとめると、今から努力をして勉強やサッカーを上達していき、本気の生活ノートを家でしっかりと書いていきたいです。

6月5日(水) 毎日本気の生活ノートを書けるようにしたい

今日は道徳がありました。生活ノートについてのことでした。中学に入学して3日ほど経ったくらいの時に、森口先生に昔担任をしていた子の生活ノートを見せてもらいました。その生活ノートは文字が隙間なくピシッリ書かれていて、内容も「中学生が本当に書いたのかな？」と思うくらいすごい内容でした。その生活ノートは私には書けないと思ったことを覚えています。

その生活ノートに憧れて頑張って生活ノートを書いたけど、あの生活ノートは超えていないなと思います。その生活ノートを超えられないのがすごく悔しかったけど、今日の授業で生活ノートは人それぞれでいいんだと気づきました。

「自分の思ったことを書きたい時に書く」これが私の生活ノートだと思います。森口先生に「1週間に1度でもいいから本気で言葉を綴ってみな」と言われて、その時から1週間に1回以上本気で生活ノートを書いています。これを継続して、毎日本気の生活ノートを書けるようにしたいです。

6月6日(木) 道徳の授業、共感できる部分が多いから心に響くのだと思う

今日、城所先生の道徳の授業がありました。前の授業の時も楽しく学べて、今回も楽しく学ぶことができました。人それぞれ心に響く授業は違うと思うけど、城所先生の授業が一番心に響きます。多分、私は共感できる部分が多いから心に響くんだと思います。これからも道徳の授業を楽しく受けたいです。

6月8日(土) 「やらずに後悔するより、やって後悔」という言葉を大事に生きていきたい

今日は、中学校総合体育大会がありました。絶対に勝って次に進みたいなと思っていました。しかし、負けてしまいました。最終回まで点の取り合いで同点でいって、延長に入ってランナー1・2塁からのスタートになりました。その途端、ポコポコに打たれて4点入れられました。絶望でした。

そして、やっと抑えて自分たちの攻撃が始まった時、2点くらい取り返せていって順調だったけど、まさかのゲッツーが起きて試合終了になりました。僕自身、悲しいというより悔しかったです。なぜなら、途中で交代させられたからです。

2年生の子と交代されました。2打席、僕は打ちました。1打席目はボテボテのゴロで、2打席目はレフトにヒットを打つことができました。そして、1塁に行った時に代走で交代させられました。それからベンチで頑張ってる盛り上げていたけど、なんかパッとしませんでした。めっちゃ打ちたかったです。でも仕方ないと思いました。

2年半くらいの部活動は短く感じました。今思えば一瞬でした。あのきつい練習があった時は、「早く終わらんかな」とか「長いな」と思っていました。けれど、それも今思えばアツという間でした。あの時もっと頑張っておけばよかったと思うこともあります。

まだそういうことを思っているということは、「限界まで頑張れていなかったんじゃないかな」と思いました。受験が終わった時には、絶対に「あの時頑張っておけばよかった」と思わないようにしたいと思っています。

これからの受験もそうだし、高校でもそうだし、「やらずに後悔するより、やって後悔」という言葉を大事にしていこうと思います。部活は、僕の中学校での青春の1つでもあり、良い経験の1つでもあります。この経験を忘れずに次に活かしたいと思っています。

6月9日(日) お父さんのためにつくった晩御飯、美味しい、ありがとうと言ってくれて嬉しかった

今日は、お母さんが今日が父の日だと勘違いしていて、私たち兄妹が番ご飯を作るとお父さんに連絡してしまいました。何を作るのか聞いたら、餃子とポテトサラダと言っていました。私たちは3人兄妹で、高校生のお兄ちゃんと小学生の妹がいます。料理を3人で分担して作りました。私は餃子の種をこねて皮で包みました。

途中お兄ちゃんがやって来て包み始めましたが、不器用すぎて邪魔になると思ったのか、2個くらい包んだところでどこかに行きました。それがとても面白くて、お父さんにも伝えるととても笑っていました。今日の餃子は、揚げ餃子と焼き餃子でとても美味しかったです。また、ポテトも美味しくて、たくさん食べました。お父さんも美味しいと言ってきて、さらに「ありがとう」と言ってくれたので、とても嬉しかったです。またいつか晩御飯を作れたらいいなと思いました。(父の日は、来週の16日だそうです)

6月10日(月) 自分にできることを見つけ、骨折という期間を無意味で終わらせないようにしたい

僕は今日、とても温かい気持ちになりました。僕が足を骨折したと聞いたら、みんなが僕の所に寄ってきて、「いけるん?」「気をつけてな」と声をかけてくれました。後藤さんを中心に後に教科書を取りに入ってくれたり、給食を運んでくれたり、不安だったことを全部助けてくれました。中でも、階段の上がり降りを手伝ってくれたり、荷物を持ったりしてくれたのが嬉しかったです。先生が僕のためにいろいろしてくれて、心配してくれたのも嬉しかったです。金曜日、骨折して中学校総合体育大会はあきらめるしかないと言われ、今までやってきたことが無駄になったと、ずっと泣いていた時の気持ちはどこかに行ってしまいました。

1年にいじめにあったことがあり、こそこそ話が全て自分の悪口のように聞こえてしまう。けど、そのようなことをやめます。自分は迷惑になっているという考えも止めます。「助け」をしてもらった分、自分でできること、サポートできることを見つけていき、この骨折という期間を無意味で終わらせないようにしたいです。

6月11日(火) 若いうちにいろいろな所に行って、世界を広げたいと思う

今日は4時間目に総合で学級旗を決めました。みんな上手でなかなか選びにくかったけど、2つまでに絞ることができました。1つは鈴江さんの「ドラゴンボールの悟空」と、もう1つは「ガンマ線バースト」と書かれたもので、2つともとても味が出ていていなあと思いました。どっちでも学級目標に合っているの、どっちかでも、僕的にはいいと思います。

先日交流事業の募集があって、今回は北海道でとても楽しそうで、まだ1度も北海道には行ったことがないので行きたいと思いました。僕以外にも行きたい人がたくさんいて、40人くらい募集しているそうで、作文を書いて、それで合格か不合格かを定めるそうです。友だちが行くのもあるけど、何より、もっといろいろなところに若いうちに行って世界を広げたいというのがあります。でも、僕が「行きたい」と言って行けるものではありません。5万円くらい旅費がかかるそうで、両親に出してもらわないと行けません。

そのためには家事をなるべく手伝って、両親を楽にして仕事を頑張ってもらわないといけないからです。もし行けなくても落ち込まず、勉強をたくさんして大人になってからいろいろなところに行きたいと思います。

2024年6月21日 校内人権に関する意見発表会【松茂中学校 第3学年人権標語】

学年の意見発表会での語り合いに引き続いて、校内の意見発表でも、皆さんは見事な語り合いを展開してくれました。特に、1年生の素直な発言に対して起こった残念な笑い(ドツと笑い)について、1年生の生徒たちへ心を込めて諭すように語った3年生の発言には、これまでの人権学習の大きな成果を感じ取ることができました。語りが語りを生む人権学習、一人一人の思いが溢れる語り合いには大きな感動が込み上げていきます。その人権学習の喜びと成果が、校内人権に関する意見発表終了後に作成した皆さんの人権標語に溢れています。2024年度、松茂中学校第3学年のすばらしさが生き生きと表現された人権標語、仲間の思いを大切に読み返してください。

友だちは 大事にしよう これからも
広げよう みんなとつなぐ 心の輪
悩みごと 隠しきるのは もったいない
助け合い 取り残さない 誰一人
本当の 気持ちを語る 仲間達
分かち合え 仲間の気持ち みんなでね
語り合い 本気で学ぶ 人権学習
区別する アツと笑いと ドツと笑い
人の価値 見えないところで 光っている
何事にも 心の支えが 必要だ
人権の 差別やいじめ ダメ絶対
人権を 侵害するな わがことへ
溢れさず 笑顔の花を 人々に
僕がやる 咲かせてみせます 人権の花
立てるかな 同じ立場に あなたなら
平等で 笑顔輝く 世の中へ
障がい者 一人一人が 認め合おう
区別する 笑われること 笑わずこと
向き合うと 大切なこと 見えてくる
6人の 意見発表 すごかった
勇気出し 自分の秘密 打ち明ける
大丈夫 その一言が 救いの手
お互いに たくさんの個性 認め合う
手に取って 考えるよりも 行動を
人権は 自分を変える 成長点
これからも いじめや差別 わがことへ
嫌な自分 個性に変える 友だちと
人権は みんなが持っている 宝物
学校に 来たいが来れない 人もいる
大丈夫 支えてくれる 仲間あり
頑張っ 一人じゃないよ 僕がいる
友だちの 個性を認める 学校へ
なんでだろ いじめする意味 わからない
自らを 語る仲間に 尊敬を
なくそうよ 人の欠点 探す目を
考えて 自分にされて 嫌なこと
問いかけよう 差別している その心に
見直して「他人事」から「我が事」へ

人権が 作り続ける ホンマの輪(和)
大丈夫 いつでも助ける 友がいる
高(はじごだか) 特別感じる この名字
言葉には 心動かす 力あり
さらけだす 自分のこと 聴くみんな
悪口は 自分を黒くしてしまう
ただ一つ 悩み紐解く 勇気持て
助けよう 自分がやらねば 誰がやる
障がいも 一つの大事な プレゼント
語り合い 自分を変える 第一歩に
宇宙一 自分の名前 大切に
わがことと 考えることの 大切さ
見つけよう 自分の良いところ 悪いところ
障がいは 個人の個性 大切に
差別に 打ち勝つ言葉 あきらめない
6人の 代表生き生き 語ってくれた
障がい者 優しく接し 支えよう
他人(ひと)の事情 理解しようと する姿勢
人権は 初めてもらった 贈り物
その視点 正しいですか 考えて
思いやり ある心には 花開く
大丈夫 勇気を出して 話してよ
考えよう 病気のことや 人の思い
やめようよ 差別すること 恥ずかしい
人権は 自分の殻を 破るもの
本当の 思いを伝え 前を向く
あやばい やってしまったは もう遅い
障がい者を バカにするのは やめようね
人権で 信頼の輪を 広げよう
関係ない そんな言葉は もうやめた
立ち止まる 言っ正しいのか ダメなのか
作ってこう みんなが差別 しない世界
「大丈夫?」その一言に 救われた
考えよう やっ正しいのか ダメなのか
人ってね 支えがないと 生きれない
忘れない 感謝の心 いつまでも
信じたい 君とのキズナ 永久に
お相手を 考えてみて その言葉

他人事 人権学び 自分事
大切な 一人一人が 世界一
今までの 自分をみつめ 振り返ろう
全国で いじめや差別 なくそうよ
僕たちの 意識を変えよう 差別心
人権は 守られるべき 存在だ
なくそうよ 人と比べる その心
様々な 意見を出し合う 松中生
僕たちで なくそう差別 自分から
陰口は とても悲しい 絶対ダメだ
人権は 自分をみつめる 時間だよ
個性とは みんなちがって みんないい
障がいは 一人の個性 寄り添おう
自らの 気持ちさらけ出す 語り合い
お互いを 高め合うこれぞ 語り合い
人権は 人と人との 心をつなぐ
真剣に 聞いてみようよ 他人の声
人権で 意見を語った 発表会
意見発表会 輪となり話す 語り合い
意見出し 人の話をよく聴く 語り合い
障がいは 関係ないよ 気持ちが一緒
それぞれの いろんな個性を 大切に
語り合う 人権問題 自分事
友だちを 守るために 突き進め
誇りもつ 私に生まれてよかったと
傷つくよ 差別なくそうよ 心友よ
気持ちをね 伝えることで 楽になる
眼で聞いて 行動で返す 発表会
差別する 暇があったら 己を磨け!
ありがとう この学習に 出会えたこと
温かい 意見飛び交う 体育館
誇りもつ 世界に一つの 私の名前
考えよう 嫌な気持ちに ならないか
大丈夫 一人じゃないよ みんながいる
人権は 一人一人に あるんだよ
自分次第 やり続ければ 世が変わる
あきらめぬ 差別なき世と 僕の夢
「宇宙一」 語れる友の ありがたさ